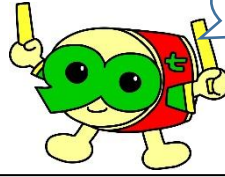


校長室だより



令和4年10月28日

校長 齋藤 瑞穂

23日の日曜日、阿佐谷南児童館ではわいわいランドがありました。オープニングは杉七太鼓の演奏で5、6年生のメンバーが活躍していましたし、児童館や学童クラブの仲間とグループになってお店を出している人もいましたね。時間をかけて準備しただけあって、ゲームやくじ引きコーナーはどこも楽しく、景品も充実していて感心しました。



わいわいランドのオープニングを飾った杉七太鼓

二十四節気「霜降」10/23～11/4ころ

10月もあと1週間となり、すっかり空気がひんやりしてきました。朝起きると「寒いな」と感じるようになった人も多いのではないのでしょうか。10月23日ころからの約15日間を、二十四節気では「霜降」と言います。北国から順々に霜が降り始める時期という意味です。

ところで、「霜」とはどんなものでしょう。



この写真のように、落ち葉や車の窓の表面がうっすら白くなっているのを見たことがあるでしょう。これは、空気中の水蒸

気が、水が凍り始める温度(0度)より冷えたものに触れた時にできる、氷の結晶です。これを霜というのです。霜が降りやすいのは、よく晴れた風の弱い夜が明け、気温がグンと低くなった朝だそうですよ。

ここ10年くらいの平均では、東京の初霜は12月20日ころだとか。暦とはなんと2か月も差があります。これも地球温暖化の影響かもしれません。果たして今年はいつになるでしょうね。みなさんも初霜のニュースを気にかけてみてください。

投句箱より

秋の日に なしやかきを 食べたいな
3年生



今回紹介するのは、3年生の作品です。

食欲の秋、サツマイモやクリはもちろん、おいしいくだものもたくさんありますね。最近ではビニルハウスでの栽培や外国産の輸入が増え、野菜の旬(たくさん収穫できて味も良い時期)はわかりにくくなりましたが、くだものからはまだまだ旬を感じることができます。特に柿は、少しずつ気温が低くなる秋に、暖かそうな色がぴったりで、秋においしいくだもの代表ですね。

秋の日になしやかきを連想して、食べたいなと思った湯浅さんの気持ち、よくわかります。

保護者の皆様

秋が深まり、校内の木々も少しずつ色づき始めました。杉七小では今週から11月21日までの約1か月、芝生養生期間に入ります。外遊びが制限されるこの期間は、どうしても校内でのけがが増えてしまいます。ほとんどの場合、廊下歩行の約束さえ守っていたら防げるけがです。学校でも指導を工夫していきますが、ぜひご家庭でも、校内、特に廊下や階段は静かに歩くことをお話いただけたらと思います。よろしく願いいたします。